

大空高く舞いあがれ！

11月28日・30日、今井小学校6年生33人が袋井丸凧保存会の協力のもと丸凧づくりに挑戦しました。児童たちは直径60cmの和紙に、地域の名物・名産や歴史に残る人物などの絵を描いたり、竹で骨組みを作ったり

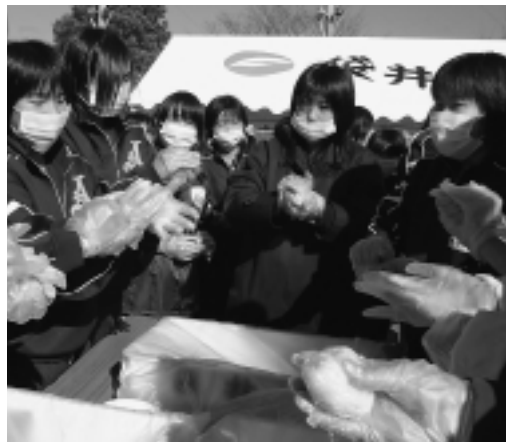
しました。丸凧が完成すると早速、太田川の河川敷へ。児童たちは、自分の思いのこもったたこが大空高くあがると歓声をあげ、目を輝かせていました。



災害に備え地域で助け合い支え合い

12月3日、約2万3,000人の皆さんが参加して市内各地区で地域防災訓練が行われました。浅羽東多目的運動広場では、浅羽東地区4自主防災隊の皆さん約1,000人が参加して、大規模災害を想定した訓練に取り組みました。消防や自主防災隊などが連携し、被

災者の捜索や救出、仮設救護所の設営や炊き出し、中学生によるバケツを使った消火活動など25項目の訓練を行いました。参加した皆さんは、「日ごろから地域の支え合いを大切にしたい」と話していました。



地元のお米と大豆でみそ作りに挑戦

11月29日から3日間にわたり、浅羽西公民館で10人が参加して「手作りみそ講座」が行われました。
 地元の特産品である米と大豆を使って、減塩のみそ作りに挑戦。
 米を蒸してこうじ菌を付け、2日間おいて米こうじを作ります。圧力釜で

煮た大豆と塩を混ぜ、ミンチ機にかけ、空気をよく抜いてたるに詰めたら仕込みは完了です。
 出来上がったみそは、各家庭に持ち帰り、半年ほど熟成させて食べごろを迎えます。



詩の楽しさ再発見

12月4日、高南小学校4・5年生73人が参加して、詩のワークショップの授業が行われました。
 3人の詩人を講師に迎え、詩についてアドバイスを受けたり、楽器を弾いた感想を即興の詩にしたりしました。
 6年生も参加した詩の朗読会では、

詩人の皆さんの詩を聞いたり、児童が作った詩を朗読したり、詩の世界を楽しみました。
 児童たちは、「これからも詩づくりを続けたい」とすっかり詩のおもしろさに魅了された様子でした。

